

第16回 全国大学生環境活動コンテスト 開催結果報告

- 主催** 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会
共催 独立行政法人環境再生保全機構
特定非営利活動法人エコ・リーグ
協賛 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団／
3R活動推進フォーラム／
J-POWER 電源開発株式会社／
新日本流通株式会社
物品協賛 協栄産業株式会社／株式会社クボタ／
株式会社大王製作所／びんリユースを推進する会／
株式会社山櫻
後援 環境省／文部科学省／読売新聞社／
全国大学生生活協同組合連合会
協力 株式会社ダイナックス都市環境研究所

ecocon
全国大学生環境活動コンテスト



第16回 全国大学生環境活動コンテストが開催されました

「全国大学生環境活動コンテスト (ecocon)」は、環境に関心のある全国の大学生が1年に1度集まり発表・交流・学習を行うイベントで、企業、行政、学識経験者、環境団体などの社会人の選考委員を交え、1年間実施した活動の振り返り、評価を行うコンテストです。平成30年12月23日、24日に、第16回 全国大学生環境活動コンテスト (ecocon2018) が開催され、全国各地から15の学生環境団体が参加し、2日間で延べ200人が参加しました。今年度は交流会のほかに、参加者の大学生を対象とした「全国大学生SDGsセミナー」を実施し、全国の大学生とSDGsをテーマにした研修および意見交換を実施しました。2日間にわたるコンテストにおいて、全国の団体の中から今年度グランプリとなったのは大阪大学環境サークルGECS、準グランプリは早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲスの皆さんでした。

グランプリ
環境大臣賞

大阪大学環境サークルGECS

『学生』という立場から環境問題の改善に貢献する

大阪大学環境サークルGECSは、大阪大学豊中キャンパスを拠点に、大学内外で環境活動を行なっている大阪大学公認サークルで、現在計85人で活動しています。

環境教育、ごみ拾い、景観保全、3R活動など、サークルメンバーを7つの班に分けながら、それぞれが課題と感じた環境課題の解決を目指し、日々多様な活動を実施しています。株式会社クボタや積水ハウス工業株式会社などの企業、地域の自治体などの行政団体、地域の小学校など、多様なセクターとの連携を行いながら、幅広く活動を行なっていることも特徴の一つです。

今年度はSDGsに注目し、オリジナルのシミュレーションゲーム「一国の主ゲーム」を新しく製作しました。小学生を対象としたゲームで、SDGsという単語を知らない子どもでも、SDGsのことを学べる場を提供しました。それ以外には例年実施している箕面川の清掃イベント、らいとびあ21(大阪府箕面市萱野中央人権文化センター)での壁面緑化活動、小学校の低中学年を対象とした環境教育活動の「びったんこ隊mini」の開催などを行いました。

私たちは「環境問題に関心の薄い人に環境活動に対して興味を持ってもらうためのきっかけ作り」を目的に、活動を実施しています。「大学生ならではの親しみやすさを生かし、将来持続可能な社会を作り上げる私達大学生や子ども達を中心とした多様な人達を巻き込みながら、参加者全員が楽しみながら環境のことを学べるように、今後も活動を続けます。



準グランプリ

独立行政法人環境再生保全機構理事長賞

早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス

『学生』が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する

私たち環境ロドリゲスは1997年に発足した団体、現在68人で活動しています。学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献するという理念の下に活動しており、環境×里山、環境×教育、環境×進路環境、環境×商品開発などの、環境に関連している、企画単位の7つの活動を展開しています。

私たちの強みは活動の「多様性」です。環境という言葉は多くの意味を含んだ言葉ですが、環境ロドリゲスは上記の多様な活動を展開しており、環境に興味がある学生がそれぞれの関心がある分野で活躍することが可能となっています。上記の理念を実行する形で活動を実施していることが、環境ロドリゲスの強みだと思います。

今年度の活動内容としては鯖江での小学生を対象とした環境教育、大学生を佐渡に連れて行き佐渡の魅力を紹介する佐渡旅をはじめとした遠地でのイベントや、多摩川清掃、千葉県里山での整備活動、学園祭や新歓期でのごみ拾いと清掃活動など、大学生が楽しみながら主体的にできる活動を実施しました。

学生主体の環境活動を今後も実施し、学生だからこそできる多様で自由な発想をもって、様々な環境問題の解決の手段や環境課題に取り組める場を今後も提供します。

